

外部評価委員会の設置とアンケート内容の改善に向けて

愛知県立豊橋西高等学校

1 学校概要（教育目標）

本校は昭和58年に開校し、本年度25年目に当たる。豊橋駅から西へ約5 kmにある全学年19学級の普通科単独校である。全校生徒の通学圏は、豊橋市内が9割、残りは豊川市、小坂井町、蒲郡市などで東三河全域に及んでいる。平成14年度から「外国人生徒選抜制度」が始まり、この制度で入学した生徒が在籍し、また、平成15年度から「情報活用コース」が1学級設置され、情報教育にも力を入れている。生徒の進路希望は、国立大学進学希望から専門学校、就職希望まで多岐にわたり、多様な進路希望に対応した指導体制の確立に努めている。

本校は、「高い知性、強健な心身、豊かな人間性」をはぐくむことを教育目標に置き、「為せば成る」という校訓の下、学習と部活動の両立を目指して活動している。特に、平成16年度からは、「明るく爽やかな学校の樹立を目指し、生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせる」ことを重点目標にして学校の活性化のために様々な取組を行っている。

2 これまでの学校評価の取組

(1) 重点目標の設定

本校では、平成15年度から学力向上プロジェクトを発足し、入学してきた生徒の学力を高め、一人一人の進路目標を実現させるために、どのような学校づくりに取り組むべきかを検討してきた。その中で授業規律の確立、学力の向上、進路意識の高揚、学校から保護者への情報提供について等の意見交換が行われ、本校教職員に対する提言も行われてきた。平成16年度に学校評価システム推進会議調査研究校に指定され、年度当初に示した「明るく爽やかな学校の樹立を目指し、生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせる」という教育目標の達成を目指すため、さらに、学校評価の重点目標を設定した。

(2) 学校評価委員会の構成

本校の学校評価委員会は校長、教頭、教務主任及び各分掌の副主任で組織されている。組織を運営委員の構成メンバーと、あえて異なる構成にしたのは、斬新な意見を広く取り入れ、積極的に学校運営に参加できる体制をつくるためである。なお、学校評価委員会の主務は教務部副主任である。

(3) 外部評価

本校では学校評議員を設置していなかったため、平成16年度より地元の中学校4校の教員から外部評価者として意見を聴くための「外部評価に関わる連絡会」を設置している。実施は年2回（8月、1月）で、本校の生徒、保護者、教職員を対象にしたアンケート結果や地元の中学校（生徒、保護者、教職員）から見た本校に対する意識、感想、改善点などを聴いている。

(4) 重点目標の公表

重点目標は、毎年PTA総会で保護者に対して重点目標を記載した「開かれた学校づくりを目指して」を配付し、説明をしている。その際に、学校評価への理解とアンケートの協力についてもお願いしている。また、本校の取組について幅広く知っていただけるよう、ホームページにも掲載している。「開かれた学校づくりを目指して」は、中間評価や年度末評価を公表するときにも発行している。（資

料 1)

(5) 評価方法

ア 課題別評価シート

評価活動は、重点目標ごとに行っており、そのための課題別評価シートを作成している。そのシートは、「本年度の重点目標」「中間評価」「年度末評価」をその都度追加記入していき、1年間の評価活動が1枚のシートに収まるようになっている。中間評価や年度末評価はアンケートの結果を参考にしているが、文章で表現し、数値による段階別評価は取り入れない。これは、数値設定になじまない内容も多く機械的に評価することを避けるためである。(資料2)

イ アンケート

自己評価の参考とするため、7月中旬と12月中旬に生徒、保護者、教職員へのアンケートを実施している。アンケートはすべて無記名で行い、各設問に対して[1 かなりそう思う][2 ややそう思う][3 あまりそう思わない][4 全く思わない]の中から選択するマークシート方式を採用している。保護者については、判断をしかねる場合もあると考え、[5 わからない]という選択肢を設け自由に意見を記述できる欄も設けた。保護者には、マークカードに不慣れな方に配慮して、記入例を示して記入しやすくした。(資料3)

ウ 学校評価に関わる連絡会

(3)でも述べたが、本校では外部評価委員会に代わるものとして、平成16年度より地元の中学校の教員を外部評価者として「外部評価に関わる連絡会」を設置している。毎年8月上旬に第1回を実施し、本年度の重点目標についての説明を行うとともに、率直な意見を聴くため、本校の諸行事(文化祭、体育大会、オープンスクール、授業参観、情報活用コース説明会など)への積極的な見学を依頼している。

第2回は1月下旬に実施し、生徒、保護者、教職員へアンケートの結果を示し、意見を聴取した。事前に自由記述式のアンケートを実施し、また、中学生やその保護者から見た本校の印象や中学校の現状を聴くことは、今後の取組を検討する十分な参考になった。前年度は、全体として良い評価であったが、今後参考にすべき多くの意見もあった。

(6) 中間評価の公表

7月中旬、生徒(各学年2クラス)、保護者(P T A 理事)、教職員の三者を対象とした中間評価のためのアンケートを実施している。これらのアンケート結果と8月に行われている外部評価に関わる連絡会での意見を参考にして各分掌で出された中間評価を、課題別評価シートに記載し、それを学校評価委員会で審議し、公表している。(資料4)

(7) 年度末評価

12月中旬に生徒(全学級)、保護者(全員)、教職員を対象とした年度末評価のためのアンケートを実施している。保護者には保護者会での来校時に直接依頼している。年度末評価は、中間評価の時と同様にアンケート結果と第2回外部評価に関わる連絡会での意見を参考にして評価している。

(8) 公表方法

教職員に対しては、課題別評価シートに記載されている内容をまとめて公表しているが、外部への公表は、保護者にも分かりやすく伝えるために、課題別評価シートの内容をそのまま掲載するのではなく、できるだけ簡潔な文章にして公表している。(資料5、資料6)

評価結果の公表は、年2回10月(中間評価)と3月(年度末評価)に「開かれた学校づくりを目指して」(保護者向け)を発行することにより行われている。さらに、同時にホームページにも同じ内容を掲載し外部からも閲覧できるようにしている。

(9) 学校評価の年間の経過概要（18年度）

平成18年度の学校評価の年間の経過概要を資料7に示した。本校での学校評価は、この流れに沿って行われている。

3 本年度の研究概要

(1) 前年度までの課題

前年度の発表で、本校の学校評価の実施による成果と課題として、概略以下のことが挙げられた。

ア 学校における教育活動の外部への積極的な情報発信

本校では、ホームページを活用して外部へできるだけ多くの情報発信を行っている。学校評価制度を導入することにより、重点目標や評価結果を掲載するだけでなく、本校の活動を正しく保護者に伝え、理解してもらうためにホームページを立ち上げた。ホームページを閲覧している保護者には大変好評である。しかしながら、これを維持継続するためには担当者の負担が大きいため、その点をどう解決するかが課題として残された。

イ 教職員の共通理解の下での教育活動の取組

設定した重点目標や具体的方策等は、従来から取り組んできたものも少なくなかったが、教職員の共通理解の下に各課題をより一層意識して教育活動に取り組むことができるようになった。しかしながら、何事も実施当初は真剣に取り組んでいくことができるが、定着するにつれて意識が薄れてくることが多いので、常に学校評価の意義を全教職員で再確認していく必要がある。

ウ アンケートを通じての、教職員と生徒・保護者との認識の隔たりの確認

全職員で熱心に取り組んでいる項目の多くは、学校の方針が生徒や保護者に確実に伝わっていることが分かった。しかし、教員が行った評価と生徒・保護者の行った評価に大きな違いがある項目については、我々の教育活動が一方的で自己満足に終わっている面がないか、情報提供の方法やアンケートの設問の表現に問題があるのかなど、多面的に解析する必要がある。

エ 外部評価者からの客観的で建設的な提言

「外部評価に関わる連絡会」では、外部評価者（中学校の教員）から参考となる建設的な意見を聴くことができた。平成19年度からは、より一層客観性をもたせ、異なる立場からの助言を受けるために、地元の中学校、大学関係者等に学校評議員を委嘱し、同時に外部評価委員にも委嘱する計画することにした。

(2) 本年度の研究概要

本校では、前年度の課題の中から次年度に向けて、特に次のことについて、重点的に改善を目指し、研究を行った。

ア 学校評価の体制

(ア) 外部評価委員会の設置に向けて

本校では学校評議員を導入していなかったため、本校の自己評価が適切に行われたか、また教育活動その他の学校運営の改善に向けた取組が適切に行われたかなど、客観的に検証するための外部評価の関係機関を設置していなかった。それに代わるものとして「外部評価に関わる連絡会」を設置している。本校では、この連絡会で得た意見などを参考にして中間評価や年度末評価を取りまとめ、学校評価が行われてきており、本来の外部評価とは性質の異なるものであった。

本校では、昨年12月に4名の方に学校評議員を委嘱することで「外部評価委員会」の設置の準備が

整うことになった。その内訳は、大学教授、会社社長、地域の住民、歯科医師であり、うち3名が女性である。

本年度も引き続き学校評議員を委嘱したが、人選や負担の問題や予算の問題等、解決すべき課題が多く、本年度からの「外部評価委員会」設置は見送られることになった。したがって、「外部評価に関わる連絡会」のみを継続することにした。

本年度は、これらの問題点を解決することにより、「外部評価委員会」の次年度の設置を進めた。外部評価委員にも、学校評価について理解する必要があるため、「外部評価に関わる連絡会」に学校評議員も加わり、本校の概要と学校評価制度について、さらに中間評価のためのアンケート結果と現在の状況を説明し意見を聴取した。双方の立場により、それぞれの意見の内容や視点の異なるものであった。特に、地元中学校の教員からは、今後のあるべき教育活動の方向について多くの意見が出された。

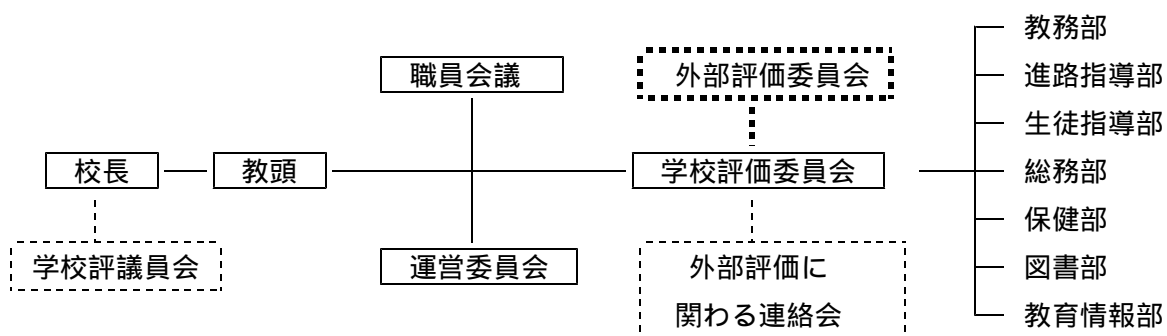
前年度は年度末の「外部評価に関わる連絡会」を1月に、「学校評議員会」を3月に実施したが、本年度は、学校評議員にも学校評価について理解を深めてもらうために、同じ日に実施することを検討したが、先に述べた視点の違い等もあり、前年度と同様の日程で行う予定である。

次年度に「外部評価委員会」を設置するに当たって、これまで行ってきた「外部評価に関わる連絡会」をどのように位置付けるかが課題であった。「外部評価に関わる連絡会」は、本校にとって自己評価をするに当たって、欠くことできない機関となっている。よって、「外部評価委員会」が設置されても存続させる方向である。したがって、「外部評価委員会」は年度末評価がまとまってからそれに対して評価をしていただく必要があるので、前年度と同様「外部評価に関わる連絡会」を1月に、「学校評議員会」と「外部評価委員会」は併せて3月に実施するのが適当な時期であると考えている。

また、学校評議員の方々の時間的負担と経済的負担を軽減するためにも、「外部評価委員会」を「学校評議員会」と同じ日に実施する方向で進めている。

(1) 次年度の学校評価の組織図

次年度は、下記の組織図を基に学校評価を実施する計画である。本年度までの組織図に、新設の「外部評価委員会」が付け加わった。



イ アンケートの質問内容の検討

前年度の当センターの研究報告（中間報告）から、今後の課題の一つとして「評価項目設定に関わる困難」が挙げられた。それは、評価項目の選定、アンケートの質問項目の文言のあいまいさにより、正確な実態把握ができていない可能性があることなどを示唆している。

「(1) 前年度までの課題」にもあるように、本校においてもこのことについては同様である。教職員のアンケートに比べて、生徒や保護者のアンケート結果で「あまり思わない」と「全く思わない」

と「わからない」の割合が高い項目について、どこに問題があるのかを検証してみた。前年度の年度末評価のためのアンケートの結果から、以下の三つの点その理由として考えられた。(資料8)

「教職員(学校側)の自己満足(努力不足や方策の間違い)に終わっているのではないか」

本年度の中間評価のためのアンケートを集計したところ、前年度末のアンケート結果と比べ、ほとんどの項目において保護者・生徒共に「かなり思う」と「やや思う」の割合(以下「そう思う」の割合と表現)が増加した。特に、1年生では今までになく高いものであった。中間評価のためのアンケートは、保護者はPTA理事を対象に行い、生徒は各学年2クラスで実施したため、全員を対象としていないが、この結果は、年度末評価へ向けて傾向を分析するために、大いに参考になっている。全体として「そう思う」の割合が上昇していることは、教職員の努力の成果の表れとして大変励みになっている。しかしながら、まだ学校側に意識と方策において改善の余地があるのではないかとと思われる。今後このことに対する検討が課題となっている。(資料9)

「生徒・保護者への情報提供の方法に問題があるのではないか」

「わからない」の選択肢は、保護者アンケートのみに入れている。本校では本校のいろいろな活動を正しく保護者に伝え、知っていただくという姿勢でホームページの充実や、家庭連絡等を行っているが、それでも保護者に情報が伝わらなくて判断しかねる場合を想定し、設けた選択肢である。アンケート結果を比較してみると、生徒会活動や図書館行事等の保護者アンケートで「わからない」の割合が高く、生徒の「そう思う」の割合も比較的低くなっている。このことは、保護者以前に生徒自身にも、実際に行っている学校活動の内容が具体的に理解されていなかったり、興味・関心がなかったり、知らなかったりしているために「あまり思わない」と「全く思わない」の割合が高くなっているものと思われる。その結果、生徒の家庭内で話題になっていないために保護者の「わからない」の割合が高くなっていると考えられる。したがって、それらの項目についてはできるだけホームルーム活動で生徒への説明を行ったり、配付物等により普段から具体的な情報提供を行い、生徒の意識を高め、保護者に伝わるように努めている。(資料10)

「アンケートの設問内容や表現の仕方に問題があるのではないか」

設問はより具体的な内容にして設定することにより、「そう思う」の割合を上昇させることができた。例えば健康指導に関して、「健康を損ねたり、けがをした生徒に適切な指導をしている」から「健診結果(う歯など)を生徒・保護者に適切に伝え、健康の保持・増進に努めている」と具体例を示し、保護者にとって身近な生徒の問題を挙げることによって、回答をやすくして保護者アンケートに加えることにした。実際、保護者の「わからない」の率は少なく、生徒の「そう思う」の割合も上昇していて、適切に判断ができたものと思われる。

また、新たに設定したアンケート項目のうち、生徒会関係での保護者の「わからない」の回答率が高くなっている。これは、まだ1学期の段階では文化祭などの生徒会の大きな活動がないために、保護者に生徒会の活動があまり知られていないためと考えられる。(資料11)

ウ 外部評価委員会設置に向けての評価規準の設定

前出の中間報告における今後の課題で、不明瞭な評価基準も挙げられており、回答者が独自の判断で評価している現状がある。それに加え、アンケート結果等を基にした評価やその基準についてもあいまいさがある。本校では、現在のところ、教育現場では数値設定になじまない内容が多いため、数値目標を立てることは一部を除いて行っていない。また、アンケート結果は参考にするものの、評価結果の公表もすべて文章で行っている。

しかし、外部評価委員会を設置するに当たっては、外部評価者に、あいまいな表現でなく評価の基

準となった具体的根拠と説明が必要である。アンケート結果を示すだけでなく、少なからず段階的な評価も視野に入れて基準を設定しなくてはならない。現在のところ、前年度を基準、過去のデータを基準の2点で設定することを考えている。

については、過去のデータを基に学年ごとに評価基準を設定したり、年によっては達成目標が上下することも想定している。本年度の中間評価からもこのことがうかがわれ、目標設定の難しさを感じた。今後は、年度当初の目標を中間評価の時点で変更することも視野に入れて考えている。

4 今後の課題

本年度は、次年度の外部評価委員会の設置を重点にした。アンケート内容の検討も評価基準の研究もその一環である。次年度は、外部評価委員会が機能することによって生じるであろう問題点の改善と、前年度の課題として挙げられた内容で現在も未解決となっている部分を中心に改善を進めていく予定である。

開かれた学校づくりをめざして

平成18年5月10日
愛知県立豊橋西高等学校

豊橋西高校では、年度当初に学校の重点目標を保護者や地域の皆様にお伝えし、その達成状況について年度途中と年度末に評価していただいております。これは、本校の教育活動をより多くの皆様に知っていただくと同時に、さまざまな評価・ご意見をいただき、よりよい学校づくりに生かしていきたいと考えるからです。今後、学校からお配りする「ちきり」やホームページなどを活用してお知らせします。また、評価のためのアンケート調査の際には、趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願いいたします。

本年度の重点目標

明るく爽やかな学校の樹立をめざし、
生徒一人一人に確かな学力を身につかせます。

学習指導

授業規律を確立するとともに、基礎学力の定着をはかり、一人一人に確かな学力を身につかせます。

進路指導

個々の生徒の学力を伸ばし、進路実現を可能にする進路指導体制の確立をめざします。

生徒指導

- ・高校生らしい制服の着用の仕方を指導し、基本的な生活習慣の確立をはかります。
- ・地域に根ざした生徒会、ボランティア活動を推進します。

PTA活動

「開かれた学校」をめざして、PTA活動の活性化をはかるとともに、家庭や地域と連携・協力して教育活動を展開できるよう努めます。

学校保健

落ち着いて学ぶことのできる教育環境の整備に努めます。

図書館活動

生徒の図書館利用の促進をはかります。

情報教育

標準的なソフトを使いこなせる知識を身につかせ、自ら課題を決め、創意工夫をして問題解決する力を養います。

平成18年度課題別評価シート

愛知県立豊橋西高等学校

分野	学習指導	担当分掌	教務部	
重点目標				
具体的な方策				
留意事項 (評価方法等)				
中間評価	これまでの取組状況			
	今後の取組			
年度末評価	取組実績			
	アンケート結果について			
	教職員	生徒	保護者	外部評価者
	総合評価			
次年度の 重点目標				

平成18年度 豊橋西高校 学校評価アンケート(保護者用)

マークカード記入上の注意

- (1) マークは必ず鉛筆(シャープペンシル)を使用して、記入例に従ってお願いします。
このプリントの右側に例があります。
- (2) 以下の質問項目の順番は、「マークカード」の回答番号に対応しています。
- (3) 4番から17番の項目については、次の中からあてはまる番号をマークして下さい。

[1]	かなりそう思う	[2]	少しそう思う
[3]	あまりそう思わない	[4]	全くそう思わない
		[5]	わからない

回答番号

- 1 保護者の皆様は、全員 [3] にマークして下さい。
- 2 お子様の学年について、1年生は [1]、2年生は [2]、3年生は [3] にマークして下さい。
二人在学中の場合は、上級学年のお子様でご記入下さい。(回答3も同様です。)
- 3 お子様の性別について、男子は [1]、女子は [2] にマークして下さい。
- 4 西高校は、生徒に授業規律を守らせ、真剣に学習に取り組ませよう努めている。
- 5 西高校は、基礎学力充実のために、わかりやすい授業を心がけ、工夫している。

~~~~~(中略)~~~~~

- 16 西高校は、生徒に読書の習慣を身につけさせるよう努めている。
- 17 西高校は、国際交流を積極的に進め、生徒が異文化を理解できるよう努めている。

次の18、19の質問については、次の中からあてはまる番号をマークして下さい。

|       |          |
|-------|----------|
| 「1」はい | 「2」「いいえ」 |
|-------|----------|

- 18 本年度の重点目標を記載した「開かれた学校づくりをめざして」を読んだ。
- 19 本年度の重点目標を記載した西高校のホームページを見た。

西高校の教育活動全般につきまして、ご意見、ご要望、ご感想などありましたら、どのようなことでも構いませんので、以下の欄にお書き下さい。今後の活動の参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

マークカード記入例

マークは鉛筆(シャープペン)でお願いします。  
カードは、折り曲げないでください。



## 開かれた学校づくりをめざして

平成18年10月26日  
愛知県立豊橋西高等学校

年度当初にお示ししました本校の重点目標達成に向け日々努力をしておりますが、それぞれの担当で中間評価を行いました。1学期末には、生徒・保護者の一部と教職員に「中間評価のためのアンケート」も実施しました。その結果も踏まえながら、中間評価をまとめました。  
( は重点目標です。)

## 学習指導

学習規律を確立するとともに、基礎学力の定着を図り、一人一人に確かな学力を身につけさせます。各集会や広報プリントを利用し、授業に臨む姿勢づくり、授業規律の確立に努めています。また、本年度から設けた「朝の学習時間」を有効に使い基礎学力の定着を図っています。課題未提出者、成績不振者の指導も、教科や学年会と連携して行っています。生徒は、学校の姿勢をしっかり受けとめて生活しています。  
今後も、生徒の学習意欲の向上をめざしながら、確かな学力を身につけさせるよう、行事をひとつひとつ着実に実践します。

## 進路指導

個々の生徒の学力を伸ばし、進路実現を可能にする進路指導体制の確立をめざします。第3学年は、進路検討会を早期に開催しました。また、インターンシップの一環として保育園実習を行いました。第2学年は、業後にチャレンジ学習会を行って、学習意欲の向上を図っています。第1学年は、学力と家庭学習時間の相関関係や得意・不得意科目の把握をするためスタディ・サポート(学力診断・生活調査)を行い、その結果を有効に活用しています。生徒の進路意識は向上し、進路決定の動機付けが一層強固になっています。  
今後も、進路に関わる情報や助言を適切に与えていきます。第3学年は、面接指導や小論文指導、また、進路決定者に対する今後の学校生活に対するガイダンスを行います。第1、2学年は、進路検討会を開きよりよい進路指導が行えるよう務めます。

## 生徒指導

高校生らしい制服の着用のしかたを指導し、基本的な生活習慣の確立を図ります。爽やかキャンペーンや正しい制服着用キャンペーンなどの指導強化週間、式・集会時における身だしなみ指導、交通指導など、呼びかけ指導から現場での指導、そして事後指導に至るまで、各学年会

(以下略)

## 平成18年度学校評価 分野別年度末評価まとめ・・・校内用(課題別評価シートから)

| 分野              | 学習指導                                                                                                                                                                                                                                             | 担当分掌                                                                           | 教務部     |                                              |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------------------------------------|
| 重点目標            | 授業規律を確立するとともに、基礎学力の定着をはかり、確かな学力を身につけさせる。                                                                                                                                                                                                         |                                                                                |         |                                              |
| 具体的な方策          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベル席を徹底し、チャイムとともに始業できるようにする。</li> <li>・生徒が分かる授業、理解できる授業を心がけ、生徒の学ぶ意欲を育む。</li> <li>・成績不振者に対しては、教科担任とHR担任とが連携しながら継続して指導を行う。</li> <li>・課題の提出を徹底するため、学年全体で指導する。</li> </ul>                                     |                                                                                |         |                                              |
| 留意事項<br>(評価方法等) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベル席を徹底することができたか。</li> <li>・チャイムとともに始業することができたか。</li> <li>・生徒が理解できるように心がけて授業をすることができたか。</li> <li>・成績不振者に対しては、きめ細かな指導をすることができたか。</li> <li>・課題の提出を徹底するため、教科担任と学年全体で指導する。</li> <li>・生徒の生活実態調査を行う。</li> </ul> |                                                                                |         |                                              |
| 年度末評価           | 取組実績                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                |         |                                              |
|                 | 集会での講話、教務広報、「朝学」と「朝読」の確実な実践を柱に、授業規律の確立、ベル席の徹底、家庭学習の増加に努めた。また、学年会と連携し、居残り指導による課題未提出者の撲滅、追考査と追認考査指導の厳格な実施による単位未修得者の減少に努めた。                                                                                                                         |                                                                                |         |                                              |
|                 | アンケート結果について                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                |         |                                              |
|                 | 教職員                                                                                                                                                                                                                                              | 生徒                                                                             | 保護者     |                                              |
|                 | 授業規律の確立、わかりやすい授業の工夫、課題未提出者減少努力について意識高く取り組んでいる。                                                                                                                                                                                                   | 授業規律の確立、課題未提出者減少努力については生徒の意識に浸透してきている。わかりやすい授業についての数値は向上しているが、教員との差もあ工夫の余地がある。 | 生徒とほぼ同様 | 外部評価者<br>中学との交流授業参観などで授業工夫に対する積極的な意見交換がなされた。 |
|                 | 総合評価                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                |         |                                              |
|                 | 確かな学力を身につけさせるため、授業規律の確立、課題未提出者撲滅にむけた徹底指導など着々と取り組みを進めてきた。その姿勢は生徒に確実に浸透してきていると思われるが、基本的な生活習慣の育成にも関わる日常的な事柄なのでマンネリ化しないよう今後も継続して取り組むことが要求される。また、わかる授業の工夫についても、生徒の基礎学力の定着度を意識した3年間を見通した教科シラバスの確立や高校外の授業参観などをとおして、更に一層工夫努力を継続していく余地がある。                |                                                                                |         |                                              |
| 次年度の重点目標        | 授業規律を確立するとともに、個々の生徒に応じた学力の向上と定着をはかり、確かな学力を身につけさせる。                                                                                                                                                                                               |                                                                                |         |                                              |

## 開かれた学校づくりをめざして

平成19年3月20日  
愛知県立豊橋西高等学校

平成18年度、豊橋西高等学校では、「明るく爽やかな学校の樹立をめざし、生徒一人ひとりに確かな学力を身につけさせる」という基本目標のもと、分野別に重点目標を設定し、その達成をめざして努力してきました。また、「開かれた学校づくり」をめざして、学校における教育活動を可能な限り保護者や地域の方々にもお伝えしてきました。年度末にあたり、この1年間の取り組みの成果と反省を、2学期末に実施しましたアンケート（教職員・生徒・保護者）結果と中学校の先生方のご意見をふまえてまとめました。（が重点目標です）

### 学習指導

**授業規律を確立するとともに、基礎学力の定着をはかり、一人一人に確かな学力を身につけさせます。**

確かな学力を身につけさせるため、ベル席の徹底による授業時間の有効活用、授業規律の確立など学習環境の整備に努めてきました。また、「朝学」や「朝読」の時間をもちや定期考査に臨む姿勢づくりを行い学習意欲の高揚に務めました。成績不振者や課題未提出者に対する指導は学年会が中心となって計画を立て、業後の居残り学習などを実施しました。ここ数年継続してきました甘えを許さない教員の厳しい姿勢は、生徒にかなり浸透してきましたが、しかしながら、家庭学習はいまだに十分ではありません。これまでの取り組みをマンネリ化することなく一層充実させ、生徒に合った学習計画を検討し、高校外の授業なども参考にして、学力の向上を図れる、わかりやすい授業をめざします。

### 進路指導

**個々の生徒の学力を伸ばし、進路実現を可能にする進路指導体制の確立をめざします。**

進路検討会を充実させ国公立四大希望者の数を増やすことができました。インターンシップにも取り組み大学進学を動機づけを強固なものにできました。就職内定率も100%を堅持できました。大学全入時代を迎え推薦入試の易化が進んでいるとはいえ、大学での履修や就職、あるいは国公立大学を始めとする難関大学に耐える学力などを考えると、以前にも増して確かな学力を保証する必要があります。スタディーサポートを新たに導入したり、土曜セミナーを充実するなど生徒の実態に合った指導を行っていましたが、引き続き進路体制の見直しを進め、創意工夫ある適切な進路指導が提供できるようにします。

### 生徒指導

**高校生らしい制服の着用の仕方を指導し、基本的な生活習慣の確立をはかります。**

指導項目や指導方針を生徒、保護者、教職員に明確に示し、共通理解を得た指導体制づくりに努めてきました。その結果、学校生活の様々な場面で高校生らしい制服の着用の仕方ができるようになりました。しかしながら、女子合服の乱れ、冬季の防寒着着用時の服装の乱れなどまだまだ不十分なところがあります。今後も生徒指導部が中心となり、本校生徒としてふさわしい制服の着こなし方などを実状をふまえた上で検討を加え、共通理解を図り、協力的な指導体制を確立し、柔軟な指導を展開します。

**地域に根ざした生徒会、ボランティア活動を推進します。**

生徒会を中心に、豊橋・田原の風保存会の協力を得て、生徒会役員、1年生ちきり祭実行委員が大凧を制作、発表し、「全国凧揚げ大会 in 豊橋」にも参加しました。また、善意フェスティバル、生き生きフェスタ、校内手話講座、夏休みボランティア体験奉仕など各種ボランティア活動へ参加したり、地元老人保健施設との交流をすすめて、ちきり祭への招待、クリスマス訪問、車椅子贈呈などを行いました。生徒自ら活動計画をたて、意欲的に参加できたと思います。特に老人保健施設との交流では自主的、積極的な活動が多く見られました。活動が生徒会、ボランティアグループだけに限られることがないよう、広く一般生徒に活動情報を提供し、活動の輪をさらに広げていきたいと思ひます。

### P T A 活動

**「開かれた学校」をめざして、P T A 活動の活性化をはかるとともに、家庭や地域と連携・協力して教育活動を展開できるよう努めます。**

P T A の活動は昨年とほぼ同じでしたが、意欲的、積極的に参加していただける常任理事及び理事を中心とした保護者の方々の数は年を追う毎に増えています。おかげで、ちきり祭、体育大会、花いっぱい

~~~~~ ( 中 略 ) ~~~~~

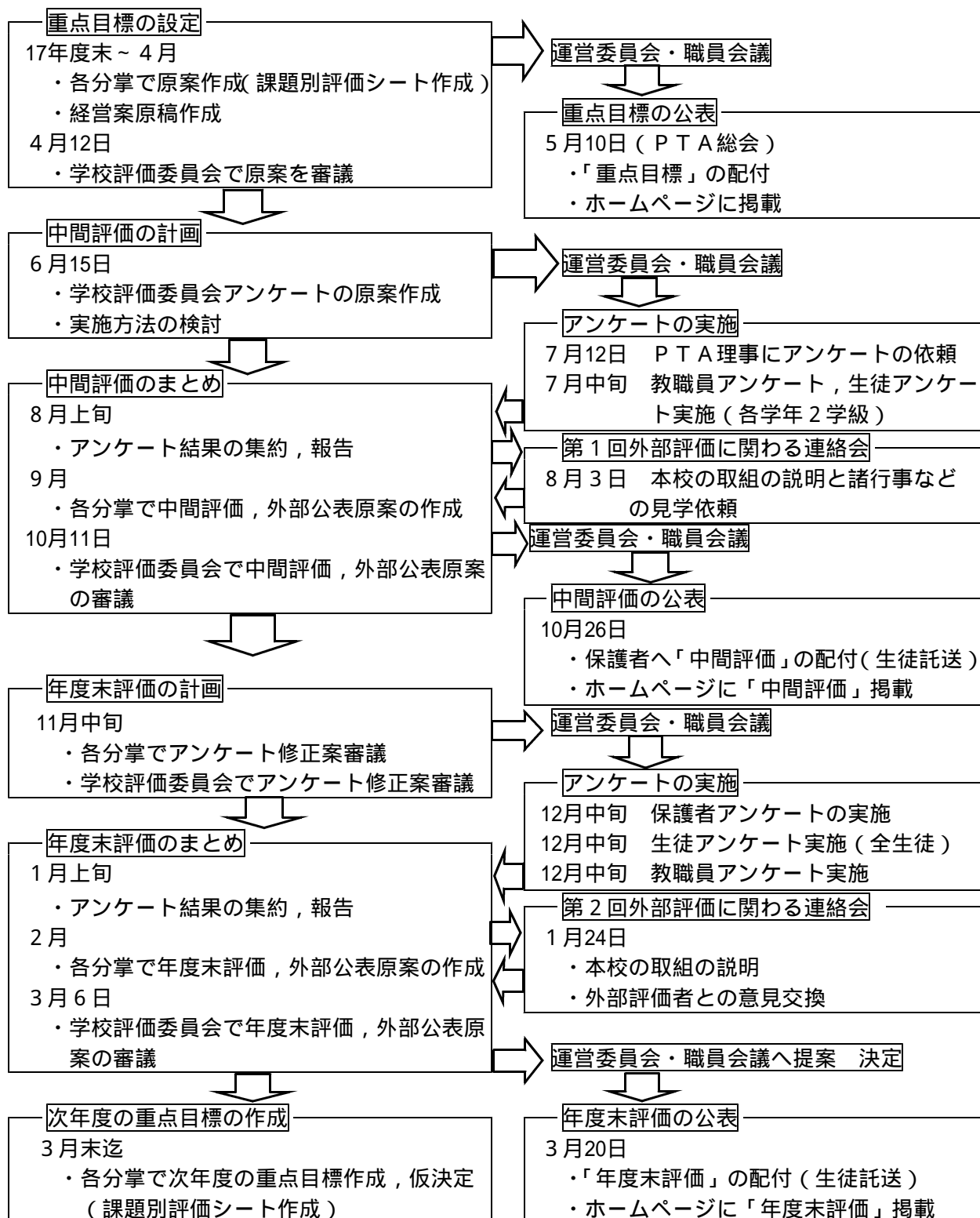
情報処理技術が身につく、自ら課題を決め、創意工夫をして問題解決する力を養うことができました。Web ページの制作を通じて、より高度なソフトの活用技術や、「著作権」など情報モラルも養うことができました。

豊橋西高校のホームページをご覧ください。

(<http://www.toyohashinishi-h.aichi-c.ed.jp>)

学校行事の予定、活動の様子などを紹介しています。

学校評価の年間の経過概要（18年度）



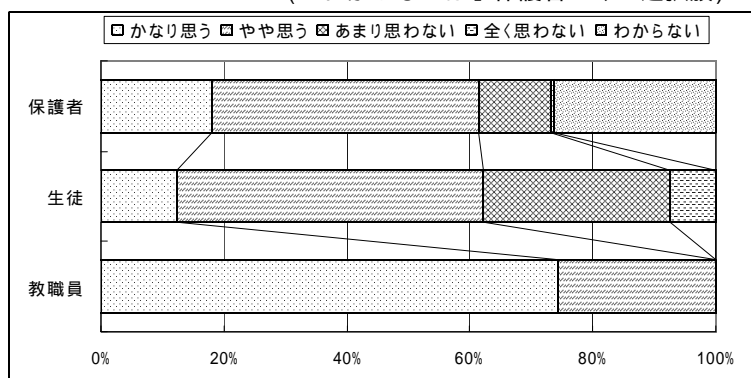
「平成18年度 年度末評価のためのアンケート結果」より

「肯定率」=「かなり思う」の割合+「やや思う」の割合

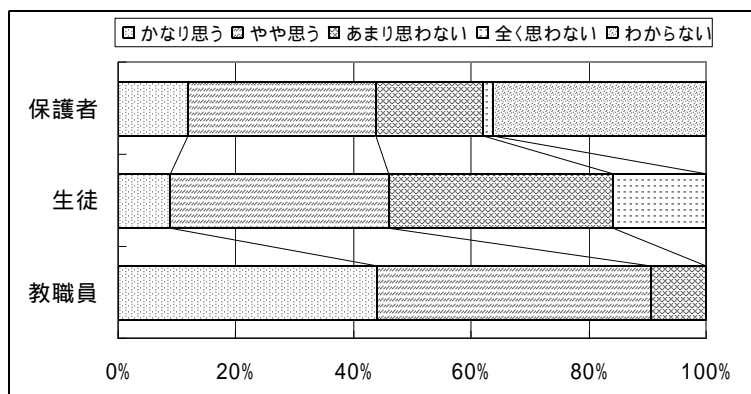
| アンケート項目 | | | かなり
思う | やや
思う | あまり
思わ
ない | 全く
思わ
ない | わか
らな
い | 肯定率 | 昨年度末
肯定率 |
|---------|----------------------------------|-----|-----------|----------|-----------------|----------------|---------------|--------|-------------|
| 2 | 基礎学力充実のために、わかりやすい授業を心がけ、工夫している。 | 教職員 | 74.4% | 25.6% | 0.0% | 0.0% | | 100.0% | 100.0% |
| | | 生徒 | 12.3% | 49.9% | 30.3% | 7.6% | | 62.2% | 57.4% |
| | | 保護者 | 18.1% | 43.5% | 11.6% | 0.7% | 26.1% | 61.5% | 52.8% |
| 4 | 進路指導室を整備し、進路に関する情報を十分に提供している。 | 教職員 | 44.2% | 51.2% | 4.7% | 0.0% | | 95.3% | 94.7% |
| | | 生徒 | 14.6% | 45.0% | 32.3% | 8.1% | | 59.6% | 61.1% |
| | | 保護者 | 19.0% | 43.1% | 21.4% | 3.6% | 12.9% | 62.1% | 59.2% |
| 9 | 生徒がボランティア活動に積極的に参加するよう努めている。 | 教職員 | 16.3% | 60.5% | 23.3% | 0.0% | | 76.7% | 81.6% |
| | | 生徒 | 6.8% | 25.0% | 42.7% | 25.5% | | 31.8% | 31.9% |
| | | 保護者 | 12.9% | 28.6% | 26.7% | 2.1% | 29.6% | 41.5% | 39.6% |
| 12 | 健康をそこねたり、けがをした生徒に適切な指導をしている。 | 教職員 | 60.5% | 39.5% | 0.0% | 0.0% | | 100.0% | 97.4% |
| | | 生徒 | 8.8% | 41.9% | 35.8% | 13.5% | | 50.7% | 55.7% |
| | | 保護者 | | | | | | | |
| 15 | 図書館行事、広報活動を通じて、図書館利用の促進に努めている。 | 教職員 | 44.2% | 46.5% | 9.3% | 0.0% | | 90.7% | 100.0% |
| | | 生徒 | 8.8% | 37.2% | 38.1% | 15.9% | | 46.0% | 41.3% |
| | | 保護者 | 12.0% | 31.8% | 18.4% | 1.4% | 36.4% | 43.8% | 41.2% |
| 21 | 国際交流を積極的に進め、生徒が異文化を理解できるよう努めている。 | 教職員 | 23.8% | 52.4% | 23.8% | 0.0% | | 76.2% | 73.0% |
| | | 生徒 | 8.7% | 26.9% | 41.0% | 23.4% | | 35.5% | 32.5% |
| | | 保護者 | 14.7% | 34.4% | 18.0% | 2.9% | 30.0% | 49.0% | 47.4% |

（「わからない」は保護者のみの選択肢）

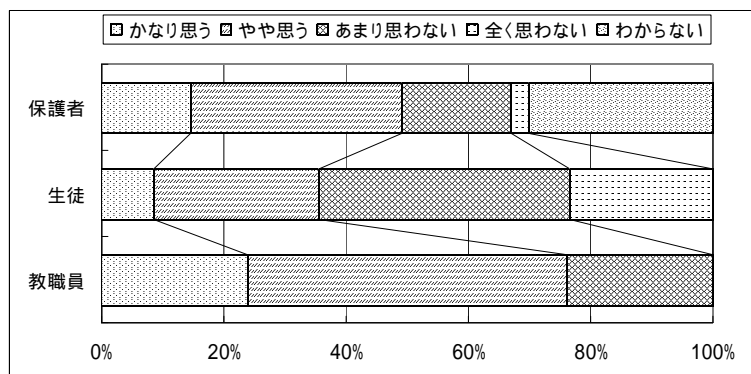
(参考) 2 基礎学力充実のために、わかりやすい授業を心がけ、工夫している。



15 図書館行事、広報活動を通じて、図書館利用の促進に努めている。



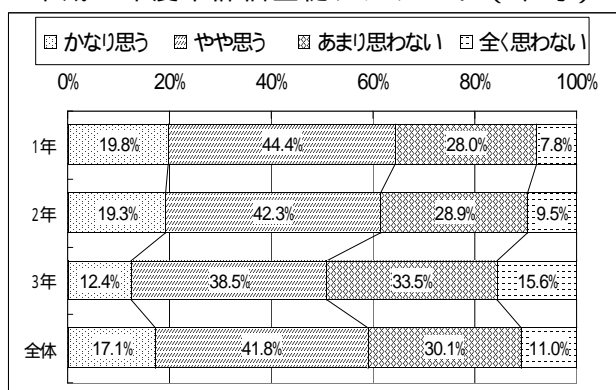
21 国際交流を積極的に進め、生徒が異文化を理解できるよう努めている。



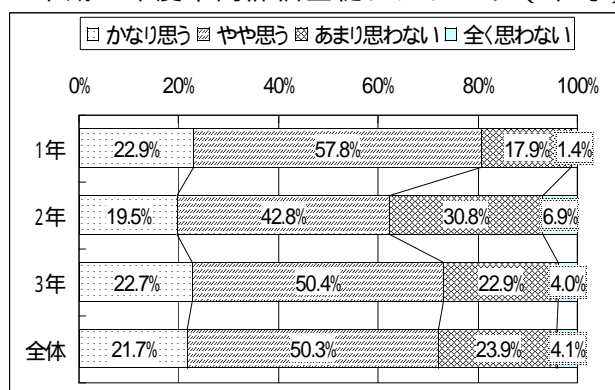
平成19年度 中間評価のための生徒(学年別)アンケート結果

| | | かなり
思う | やや
思う | あまり
思わ
ない | 全く
思わ
ない | 肯定率 | 昨年度末
肯定率 |
|---|----|-----------|----------|-----------------|----------------|-------|-------------|
| 1 先生方は、生徒に授業規律を守らせ、真剣に学習に取り組ませよう努めている。 | 1年 | 29.9% | 61.0% | 7.8% | 1.3% | 90.9% | 88.4% |
| | 2年 | 24.7% | 60.5% | 14.8% | 0.0% | 85.2% | 85.1% |
| | 3年 | 26.1% | 58.0% | 14.5% | 1.4% | 84.1% | 71.5% |
| 2 先生方は、基礎学力充実のために、わかりやすい授業を心がけ、工夫している。 | 1年 | 23.4% | 57.1% | 15.6% | 3.9% | 80.5% | 73.0% |
| | 2年 | 19.8% | 46.9% | 28.4% | 4.9% | 66.7% | 65.5% |
| | 3年 | 17.4% | 50.7% | 27.5% | 4.3% | 68.1% | 48.6% |
| 3 先生方は、課題未提出を少なくするよう努力している。 | 1年 | 27.3% | 58.4% | 13.0% | 1.3% | 85.7% | 78.0% |
| | 2年 | 24.7% | 50.6% | 22.2% | 2.5% | 75.3% | 66.4% |
| | 3年 | 18.8% | 56.5% | 21.7% | 2.9% | 75.4% | 62.5% |
| 4 先生方は、進路指導室を整備し、進路に関する情報を十分に提供している。 | 1年 | 16.9% | 58.4% | 24.7% | 0.0% | 75.3% | 63.0% |
| | 2年 | 13.6% | 34.6% | 45.7% | 6.2% | 48.1% | 58.2% |
| | 3年 | 27.5% | 49.3% | 20.3% | 2.9% | 76.8% | 57.8% |
| 5 先生方は、生徒の進路実現のために課外授業、模試などを積極的に計画・実施している。 | 1年 | 39.0% | 48.1% | 13.0% | 0.0% | 87.0% | 85.3% |
| | 2年 | 39.5% | 49.4% | 11.1% | 0.0% | 88.9% | 90.0% |
| | 3年 | 54.4% | 36.8% | 8.8% | 0.0% | 91.2% | 76.3% |
| 6 先生方は、進路意識を高めるため、進路講演会等を適切な時期に適切な内容で実施している。 | 1年 | 16.9% | 64.9% | 18.2% | 0.0% | 81.8% | 66.1% |
| | 2年 | 14.8% | 53.1% | 28.4% | 3.7% | 67.9% | 70.4% |
| | 3年 | 20.3% | 55.1% | 18.8% | 5.8% | 75.4% | 49.4% |
| 7 先生方は、生徒が爽やかにあいさつできるように指導している。 | 1年 | 16.9% | 48.1% | 31.2% | 3.9% | 64.9% | |
| | 2年 | 14.6% | 42.7% | 34.1% | 8.5% | 57.3% | |
| | 3年 | 24.6% | 52.2% | 21.7% | 1.4% | 76.8% | |
| 8 先生方は、身だしなみ指導を積極的に実施し、高校生らしい制服の着用を指導している。 | 1年 | 36.4% | 57.1% | 6.5% | 0.0% | 93.5% | 87.3% |
| | 2年 | 39.5% | 43.2% | 13.6% | 3.7% | 82.7% | 85.8% |
| | 3年 | 40.6% | 47.8% | 10.1% | 1.4% | 88.4% | 74.3% |
| 9 先生方は、生徒会行事やホームルーム役員としての活動が、生徒の手により行えるよう努めている。 | 1年 | 22.1% | 62.3% | 13.0% | 2.6% | 84.4% | |
| | 2年 | 21.0% | 51.9% | 24.7% | 2.5% | 72.8% | |
| | 3年 | 13.0% | 69.6% | 14.5% | 2.9% | 82.6% | |
| 10 先生方は、健診結果(う歯など)を生徒・保護者に適切に伝え、健康の保持・増進に努めている。 | 1年 | 22.1% | 54.5% | 20.8% | 2.6% | 76.6% | |
| | 2年 | 17.3% | 40.7% | 38.3% | 3.7% | 58.0% | |
| | 3年 | 15.9% | 46.4% | 36.2% | 1.4% | 62.3% | |
| 11 先生方は、校内の美化活動を推進し、教育環境の整備に努めている。 | 1年 | 20.8% | 50.6% | 26.0% | 2.6% | 71.4% | 62.1% |
| | 2年 | 14.8% | 33.3% | 44.4% | 7.4% | 48.1% | 66.8% |
| | 3年 | 26.1% | 47.8% | 24.6% | 1.4% | 73.9% | 59.4% |
| 12 先生方は、図書館行事、広報活動を通じて、図書館利用の促進に努めている。 | 1年 | 15.6% | 64.9% | 19.5% | 0.0% | 80.5% | 49.8% |
| | 2年 | 14.8% | 29.6% | 40.7% | 14.8% | 44.4% | 47.5% |
| | 3年 | 15.9% | 55.1% | 26.1% | 2.9% | 71.0% | 41.0% |
| 13 先生方は、生徒に読書の習慣を身につけさせるよう努めている。 | 1年 | 26.0% | 59.7% | 14.3% | 0.0% | 85.7% | 73.5% |
| | 2年 | 23.5% | 44.4% | 27.2% | 4.9% | 67.9% | 72.3% |
| | 3年 | 21.7% | 55.1% | 20.3% | 2.9% | 76.8% | 61.8% |
| 14 先生方は、生徒のコンピュータ活用技能向上のために努力している。 | 1年 | 18.2% | 68.8% | 13.0% | 0.0% | 87.0% | 60.2% |
| | 2年 | 8.6% | 32.1% | 44.4% | 14.8% | 40.7% | 38.6% |
| | 3年 | 11.6% | 40.6% | 34.8% | 13.0% | 52.2% | 29.7% |
| 15 先生方は、生徒に情報モラルを身につけさせるよう努めている。 | 1年 | 18.2% | 57.1% | 23.4% | 1.3% | 75.3% | 52.8% |
| | 2年 | 9.9% | 32.1% | 40.7% | 17.3% | 42.0% | 39.7% |
| | 3年 | 13.0% | 42.0% | 33.3% | 11.6% | 55.1% | 32.5% |
| 16 先生方は、国際交流を積極的に進め、生徒が異文化を理解できるよう努めている。 | 1年 | 17.1% | 53.9% | 26.3% | 2.6% | 71.1% | 33.6% |
| | 2年 | 11.5% | 39.7% | 33.3% | 15.4% | 51.3% | 44.3% |
| | 3年 | 15.9% | 43.5% | 33.3% | 7.2% | 59.4% | 28.1% |

* 平成18年度末評価生徒アンケート(平均)



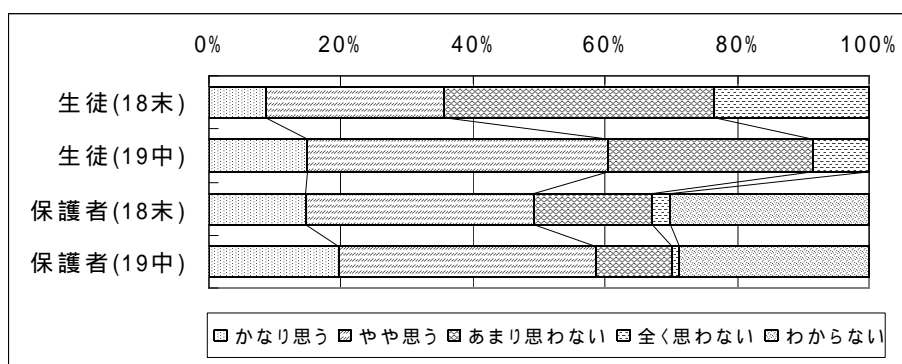
* 平成19年度中間評価生徒アンケート(平均)



「平成18年度 年度末評価のためのアンケート結果」より

| アンケート項目 | | | かなり
思う | やや
思う | あまり思
わない | 全く思
わない | わから
ない | 肯定率 | 昨年度末
肯定率 |
|---------|----------------------------------|-----|-----------|----------|-------------|------------|-----------|-------|-------------|
| 2 | 基礎学力充実のために、わかりやすい授業を心がけ、工夫している。 | 生徒 | 12.3% | 49.9% | 30.3% | 7.6% | | 62.2% | 57.4% |
| | | 保護者 | 18.1% | 43.5% | 11.6% | 0.7% | 26.1% | 61.5% | 52.8% |
| 3 | 課題未提出を少なくするよう努力している。 | 生徒 | 26.1% | 42.6% | 24.2% | 7.0% | | 68.7% | 66.0% |
| | | 保護者 | 29.7% | 39.7% | 7.8% | 1.2% | 21.6% | 69.4% | 64.4% |
| 9 | 生徒がボランティア活動に積極的に参加するよう努めている。 | 生徒 | 6.8% | 25.0% | 42.7% | 25.5% | | 31.8% | 31.9% |
| | | 保護者 | 12.9% | 28.6% | 26.7% | 2.1% | 29.6% | 41.5% | 39.6% |
| 13 | 校内の美化活動を推進し、教育環境の整備に努めている。 | 生徒 | 15.1% | 47.7% | 31.4% | 5.8% | | 62.8% | 57.4% |
| | | 保護者 | 25.2% | 45.7% | 7.6% | 0.5% | 21.0% | 71.0% | 66.4% |
| 15 | 図書館行事、広報活動を通じて、図書館利用の促進に努めている。 | 生徒 | 8.8% | 37.2% | 38.1% | 15.9% | | 46.0% | 41.3% |
| | | 保護者 | 12.0% | 31.8% | 18.4% | 1.4% | 36.4% | 43.8% | 41.2% |
| 16 | 生徒に読書の習慣を身につけさせるよう努めている。 | 生徒 | 21.9% | 47.2% | 22.7% | 8.1% | | 69.1% | 55.5% |
| | | 保護者 | 20.5% | 40.1% | 15.8% | 1.9% | 21.7% | 60.6% | 52.7% |
| 21 | 国際交流を積極的に進め、生徒が異文化を理解できるよう努めている。 | 生徒 | 8.7% | 26.9% | 41.0% | 23.4% | | 35.5% | 32.5% |
| | | 保護者 | 14.7% | 34.4% | 18.0% | 2.9% | 30.0% | 49.0% | 47.4% |

(参考) 21 国際交流を積極的に進め、生徒が異文化を理解できるよう努めている。



(「わからないは」保護者のみの選択肢)

「平成18年度 年度末評価のためのアンケート結果」より

| アンケート項目 | | | かなり
思う | やや
思う | あまり思
わない | 全く思
わない | わから
ない | 肯定率 | 昨年度末
肯定率 |
|---------|------------------------------|-----|-----------|----------|-------------|------------|-----------|--------|-------------|
| 7 | 遅刻の防止に取り組んでいる。 | 教職員 | 68.2% | 27.3% | 4.5% | 0.0% | | 95.5% | 92.1% |
| | | 生徒 | 17.9% | 43.1% | 31.1% | 7.9% | | 61.1% | 62.3% |
| | | 保護者 | 47.3% | 36.8% | 3.8% | 1.0% | 11.2% | 84.1% | 79.7% |
| 9 | 生徒がボランティア活動に積極的に参加するよう努めている。 | 教職員 | 16.3% | 60.5% | 23.3% | 0.0% | | 76.7% | 81.6% |
| | | 生徒 | 6.8% | 25.0% | 42.7% | 25.5% | | 31.8% | 31.9% |
| | | 保護者 | 12.9% | 28.6% | 26.7% | 2.1% | 29.6% | 41.5% | 39.6% |
| 12 | 健康をそこねたり、けがをした生徒に適切な指導をしている。 | 教職員 | 60.5% | 39.5% | 0.0% | 0.0% | | 100.0% | 97.4% |
| | | 生徒 | 8.8% | 41.9% | 35.8% | 13.5% | | 50.7% | 55.7% |
| | | 保護者 | | | | | | | |

「平成19年度 中間評価のためのアンケート結果」より

| アンケート項目 | | | かなり
思う | やや
思う | あまり思
わない | 全く思
わない | わから
ない | 肯定率 | 昨年度末
肯定率 |
|---------|--|-----|-----------|----------|-------------|------------|-----------|--------|-------------|
| 7 | 生徒が爽やかにあいさつできるように指導している。 | 教職員 | 53.1% | 43.8% | 0.0% | 3.1% | | 96.9% | |
| | | 生徒 | 18.4% | 47.4% | 29.4% | 4.8% | | 65.8% | |
| | | 保護者 | 31.0% | 41.4% | 13.8% | 0.0% | 13.8% | 72.4% | |
| 9 | 生徒会行事やホームルーム役員としての活動が、生徒の手により行えるよう努めている。 | 教職員 | 50.0% | 46.9% | 3.1% | 0.0% | | 96.9% | |
| | | 生徒 | 18.9% | 60.8% | 17.6% | 2.6% | | 79.7% | |
| | | 保護者 | 12.6% | 33.3% | 6.9% | 2.3% | 44.8% | 46.0% | |
| 12 | 健診結果(う歯など)を生徒・保護者に適切に伝え、健康の保持・増進に努めている。 | 教職員 | 75.0% | 25.0% | 0.0% | 0.0% | | 100.0% | |
| | | 生徒 | 18.5% | 47.1% | 31.7% | 2.6% | | 65.6% | |
| | | 保護者 | 50.0% | 39.5% | 4.7% | 1.2% | 4.7% | 89.5% | |

該当する項目の質問をしていない場合は、数値の欄は空欄になっています。